

《 コラム 》 Vol. 3

費用対効果

ノビサックを使うことによって様々な効果がありますが、そのうちの作業効率についての効果のお話です。

ノビサックを使うことによって、どのくらい作業効率が上がるのでしょうか？

その効率は作業の種類によって様々だと思いますが、以下に実際にあった一例を記します。今年の 10 月頃の話です。

知人が勤めている会社でカレンダーを 17,000 部作る仕事がありました。

月ごとのカレンダーを束ねて 1 冊のカレンダーに仕上げるような作業です。

知人がたまたまノビサックのサンプルを持っていたので使ってみたところ、これがなかなか調子よく仕事が捗りそうとの事でした。

改めてノビサックの S サイズを 1 袋と XS サイズを 1 袋、計 2 袋をご購入頂きました。

(ありがとうございます!)

さて、どのくらい仕事が捗ったのでしょうか？

当初その作業に掛かる予定作業日数を 18 日間(合計予定人工を約 77 人工)と見ていたそうです。

ところがノビサックを使ってみると、作業日数 8 日間(合計人工約 44 人工)で終わってしまったとの事です。

なんと約 33 人工(77 - 44 = 33)の節約ができてしまいました!

1 人工の賃金を ¥1,000 × 7 時間 = ¥7,000 としますと、

¥7,000 × 約 33 人工 = 約 ¥231,000 となります。

節約にかかった費用はノビサック 2 袋分だけ。

ノビサック 1 袋で約 ¥115,500 が節約できた計算になります!

以上の例は極端な話かもしれませんが、他の作業でも実際に起こりえる話です。

たった 680 円で 10 万円以上の効果!

ここで費用よりも大切なことが節約できました。

そう、時間です。

18 日間の作業予定だったのがなんと 8 日間で終わってしまいました。

これは大きい!

仕事改革に大きな貢献が見込めます。

悔るなかれ、ノビサック。